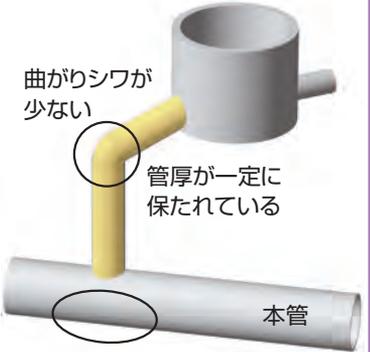


FRP光硬化取付管ライニング工法 他工法との比較

施工累計実績 442.8km、施工実績 年間30~40km…シェア率No.1を確保しています

	熱形成工法	現場含浸型工法	工場含浸型 (FRP光硬化取付管ライニング工法)
材料価格	一番安い	安い	少々割高
日進量による 施工単価	日進量2~3本位のため トータルでは割高	現場含浸人数合わせて5~6人 日進量3~4本、割高	日進量4本以上、施工人数4人 トータルでは安価
施工実績	累計 少ない	累計 少ない	累計442.8km (年間30~40km)
施工物の 品質	 <ul style="list-style-type: none"> ●曲がり45~60°、応力により施工後クラック発生の可能性はないか。 ●応力により、管口が収縮しないか。 ●冬場は材料が固いため、引き込みづらい材料を暖めると伸びるため、管厚が保てないか。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●現場含浸のため、含浸し易いように樹脂の粘性を弱くするため、含浸材料の反転、拡径時に本管側に樹脂ダレを発生しやすい。 ●規定の管厚が保てない時は、地下水圧等で将来坐屈する可能性がある。 ●現場含浸のため、どうしても品 	 <ul style="list-style-type: none"> ●工場で含浸後、増粘により粘性を高めて一定値にしているため、樹脂ダレ無し。管厚が一定になる。 ●近くに沼、湖、地下水が高くても座屈発生することがない。 ●施工装置が小型機のため占有率も少ない。
住民対策		<ul style="list-style-type: none"> ●現場含浸により、施工延長が長いと道路上での含浸作業のため、住民の承諾が必要。 ●硬化まで1~2時間または数時間の間、トイレ等が使えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●施工時間1時間以内のため、施工後すぐにトイレ等を使用できる。 ●本管側から順次光硬化するため、スチレン臭の発生が極めて少なく、収縮も少ない。

- 施工時間が1時間以内に終了するため、住民対策上トラブルが極めて少ない工法です。
- 現場含浸型と比べて、施工物の品質が均一で品質確保されています。
- 品質管理・施工管理と併せて、トータルで安い施工費になっています。